

# 星の夢百聞

～ 第164号～

発行日:2019年10月1日

発行:有限会社 おいらーく

札幌市東区北 25 条東 20 丁目 7-1

発行人:星野 二三江

敬老の日を迎え、皆様元気なご様子で心からうれしく存じます。この度、うらら伏古では9月15日に職員手作りの衣装を着て仮装した歌謡ショーや町内の人達によるオカリナ・ギター演奏等を披露し、敬老を祝わせて頂きました。

そこにはたくさんのご家族様や入居者様が来られ、笑顔を見ることが出来ました。楽しんで頂けた様で職員一同、ホッとしております。これからも皆様方の充実した生活を送りして頂ける様に今後とも善処していく次第でございます。

皆様にはどうか変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、そして、いつまでもご壮健で、心豊かな人生を過ごされますようご祈念申し上げます、お祝いのごあいさつと致します。

(山本)





# 行事

## 敬老会



えくぼ元町敬老会・感謝状授与式の様子です。リクライニング車椅子の方も増え、本部会議室を使わせていただくことになりました。より広々とした中ゆったりと安全に出来ました。

男性チームの二人羽織、女性チームによるピンキー&キラーズで多いに笑い、えくぼ元町恒例の利用者様今昔物語で涙ありの感動で会場の全員がほっこりします。

そのあと卒寿の方お二人に表彰状と豊生会から感謝状と記念品の授与式が行われました。

(道下悦子)



現在、せんりの皆さんの平均年齢は89歳。最高年齢98歳のO様は、膝が痛みますが、職員と手をつなぎながら、歩いています。

今年の敬老の日はゲームのあと、櫛谷看護師を中心にかぼちゃを煮て、あんこをかけてみんなで食べてお祝いしました。春から裏の畑でかぼちゃを育て、敬老の日に食べようと計画していましたが、『予定は未定』で思ったより成長せず、スーパーで買って来たかぼちゃになりましたが、皆さん喜んで下さいました。

これからも、ますます元気に！いつまでも穏やかに生活できるように御支援させて頂きます！（近正 朋子）







グループホーム夢は9月14日(土)に敬老会を行いました。

ボランティアでマジシャンを呼びました。2名のマジシャンが繰り出すマジック。ちよつと何が起こったのか?となることがありました。皆様見逃すまいと釘づけで、笑顔と歓声が多く見られ、拍手が絶えない時間でした。

そのあと皆様と一緒に職員のハーモニカ伴奏で合唱♪響き渡った歌声は今までにない一体感を生み出しました。

おやつには皆さんの大好きな「ゼンざい」を出し、「美味しいねえ〜美味しいね〜」と召し上がってくださいました。

これからも元気に楽しく長生きしてくださいね!  
(谷川 敬浩)



9月22日にえくぼ東雁来の敬老会を行いました。札幌ハーモニカ倶楽部の方々が来訪して下さり、美しいハーモニカを演奏されました。ご利用者様は真剣に聞いておられ、次第に手拍子をする方や口ずさむ方も出てこれられ楽しまれている様子でした。

以前はよくハーモニカを吹かれていましたが最近吹く事をしなかったご利用者様に、ご自身のハーモニカをお持ちすると久しぶりに口に当てて姿を見る事が出来ました。

札幌ハーモニカクラブの方が用意して下さいた歌詞カードを見ながら、『月の砂漠』や『星影のワルツ』など4曲を演奏に合わせ全員で歌い、アンコールの『幸せなら手を叩こう』では身体全体を動かされ、全ての曲を楽しんで頂けたようでした。

演奏会の後は、おやつタイムになり、スタッフ手作りしたおはぎやトウモロコシなどを召し上がられました。おはぎは、餡子やきな粉、ゴマの種類があり好きな物を選ばれ「美味しいわ!」と舌鼓を打たれていました。

美味しく召し上がられた後に、一か月前からスタンプが準備していたメッセージ入りの手作りのポップアップカードを手渡ししました。手渡しされた方から開いて行かれ、「あー!」と声を上げ笑顔が見られスタッフ一同も満足の敬老会となりました。  
(今野)





# えくぼ&ココ元町式番館

えくぼ&ココ元町式番館は配食の方々に協力を頂き、平日デイへ通われている方も集まれるように日曜日の昼食にお祝いのお膳をお出しし、午後の体操の時間を利用し、食堂にてDTを取り入れたお茶会を開催致しました。3種類のお茶菓子と、3種類のお茶の中から好みの物をえらんでいただきました。心ばかりのメッセージカードを添えてお渡ししました。

好みの物を味わいつつ、懐かしい曲をCDで流していたところ、歌に合わせて口ずさまれる方があちこちに。急遽カラオケセットを準備し日頃、デイサービス等で披露されている自慢の歌を住宅の方々の前で披露して頂きました。

他の方々も一緒に歌われたりと短い時間ではありましたが、和やかな中にも笑顔もみられ、楽しかったよとの声も聞かれ、ささやかなお祝いでしたが喜んで頂きました。(日下部 裕子)



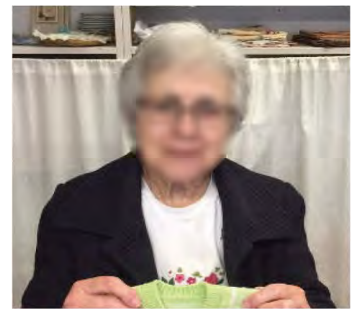
## in ニュラビ

# ダイバーショナルセラピー 研修

この写真は

Seiwyn Village という施設にある店です。この店は、そこに住んでいる利用者さん手作りの物を売っている場所です。小さな毛糸の服、ポストカード、ひざ掛けなど色々な物が売られています。

利用者さんが得意な物を作り対価を得る。ただ好きで作っているというだけではなく展示され、選ばれ喜ばれます。自分のモチベーションにもなり、生きる楽しみ、喜びになっていることは間違いないと思えました。



利用者さんのやりたいこと、得意なことを引き出すのもDTワーカーの役割で利用者さんが何を大切にしているのか、好きなことは何かを一緒に考え「楽しまなくっちゃ意味がない！」のお手伝いを少しでも出来たらと思います。(浅田 由美子)

Kumeu Village という認知症ユニットのドアや壁に立体的にかかっている「禁止しないデザイン」と言われている絵です。

各部屋のドアや壁に全て違う絵が描かれており、ただただ凄いい!!の一言です。

この写真は食堂の壁に描かれている絵ですが、キッチンカーで食事を作っている様に見えて、施設の食堂で作っている雰囲気は全くありません。キッチンカーで食事を受け取り、食べたら下げるといふ本当に外出をしているような気分になるアイデアでスケールの大きさに驚かされました。(高屋 利啓)



## NZSDRT National Conference • DT ワークショップ

施設研修・DT研修2015年に開設された新しい施設であり、6つのユニット・各ユニットごと15名〜20名入居され、合計63名の牧場もある豪華な作りでした。

Seiwyn Villageと同じく介護職は介護・看護師は看護・DTWはDTと専門職として確立されていて、毎日様々なアクティビティを提供して頂きました。そして入居者の人数に対する職員の人数の比率が高くゆったりとした開放的な空間だと感じました。

今後更に、入居者様の好きな事・したいと思うことを実現させるには、どうしたらいいかを考え何かしたい、楽しみたいと思ってもらえるように一人一人に向き合い関わっていきたいと思います。今回このような研修の機会を与えて頂き有難うございました。(佐藤 麻衣)







第53弾!

# ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話

やるにも適しているのがこの季節だ。暑すぎず寒すぎず、からりとした空気が心地よい。気力・体力・集中力を高めてくれる秋。

スポーツの秋。ラグビーワールドカップがこの日本で開催されている。世界20ヶ国から集結した精鋭チームが庄巻の試合を繰り広げている。ラグビーのルールは良くわからないが、血汗飛び散る肉弾戦は正に格闘技だ。観ていて大変興奮する。放送は終了したが北海道出身の大泉洋主演のドラマ「ノーサイドゲーム」もラグビーブームに一役買ったかもしれない。男達の熱い思い、戦いが描かれ良いドラマだった。

がんばれニッポン、初戦はロシアに快勝したぞ。私もこうしてはいられない、まず体幹を鍛えようとヒンズースクワットを始めてみたが、次の日起き上がれなかった。やはり無理は禁物だ。

日ハム、来季はがんばれ。最下位争いはもうやめてくれ。大根役者のことをアメリカではハム役者というらしいぞ。

実りの秋。自分はこれまで実る稲穂の如く、頭(こごべ)を垂れる人生を送って来た。謙虚だからではなく、誰彼ともなく媚びへつらつてきたのだろう。それがわかったただけでも収穫の秋だ。

音楽の秋。秋をテーマにした楽曲はジャンルを超え多数存在する。ジャズで代表的なのは「枯れ葉」だろう。もともとシャンソンの名曲だったがいつのまにかジャズの定番曲となった。考えてみれば私自身も青葉というより枯れ葉だな。でもそれは地に落ちて栄養となるのだ。輪廻転生みたいなものだ。

紅葉の秋。赤や黄に染まる木々の葉は最も日本的な情景だろう。北海道には観楓会という独特の催しがあるが、これは特に紅葉を楽しむわけではない。仲間とゆつくり飲んで騒いで過ごすのだ。それはそれでおめでたいが、それどころではない。我が家では家計簿が真っ赤に紅葉しているではないか。読書の秋。読みたい本はたくさんあるのだが、読んでいるうちに寝てしまう。ページにはよだれも垂れている。だから睡眠の秋となる。寒い冬そのまま冬眠できればなお良いが。

食欲の秋。年から年中食欲はあるが、秋は特別だろう。何を食べても美味しい。牡蠣、さんま、鮭、さつまいも、柿、梨にぶどう。我が家では最近お米を奮発してみた。これがめっちゃめっちゃ美味い。以前のものと比べ、もちもちとした粘りと甘味がある。もちろんお値段もなかなか良い(だから赤字になるのに)。おなかも出てきて少しカロリーを控えようと思っていたのに、食は進む一方ではないか。

ああ結局私の秋は「天高く腹肥ゆるメタボの秋」だ・・・とほほ。

(蓮川 享士)

## ダイバーショナルセラピー

# DTってなーに？

## ソナスセッション「うらら夏祭り」報告

8月28日「うらら夏祭り」のセッションを行いました。

お盆の時期は過ぎていましたが、参加された入居者さんはそれぞれに華やかな浴衣に身をまとい、「こんな綺麗な浴衣を着る事ができて嬉しい。ありがとっ!」「鏡で自分の浴衣姿を見てみたい!」と何時もと違う装いに目を輝かせて話す入居者さんもいました。

縁日では「輪投げ、金魚つり、玉入れ」を楽しんで頂き、盆踊りを踊る事を恥ずかしそうにしていた入居者さんも、太鼓や北海道盆踊りの音に誘われるように輪の中に入り踊られていました。ほとんどの入居者さんが車椅子でしたが、昔なじみのある懐かしい踊りに自然と身体が動いていたようです。

スイカ割りではスイカが割れると歓声が上がリ、皆で拍手:「甘いスイカだね!」「今年一番の甘いスイカかも」と

皆で話をしながらの試食タイム:

何十年振りに着た浴衣に皆さん心から喜ばれ、私達職員も心温まるひと時を過ごさせて頂きました。(伊藤典子)





第10回

# 豊生会フォーラム

開催  
報告



9月1日(日)豊生会グループフォーラムが札幌サンプラザホールにて開催され、今年も節目となる第10回目を迎えました。今年のテーマは「叶えよう自分の夢、支えよう我らの地域」と題し、フォーラム実行委員会が自主製作した映画が上映されるとい、例年とはまた趣向を変えた取り組みがあり、より興味を惹かれて会場に足を運んだ方も少なくありません。実行委員長を豊生会介護事業部の野坂達也課長が務められました。

映画では豊生会で働き始めた、とある介護職員の青年が仕事に取り組みうえて意識していなければならぬ「自立支援」について悩みながらも、豊生会グループ内の事業所を巡ったり仲間達と時間を共にしたりするうちに、グループが担っている地域での役割を理解し、自身も仕事に対する姿勢に自信と夢を持てるようになるというあらすじです。映画上映の後には出演者がステージに登壇し、製作した映画の意図や撮影時の苦労なども聞くことができました。映画を観た方々からは、「期待以上によい作品だった。」「感動しそうになった。」「と好評が多く聞かれています。

第2部では豊生会グループが運営する地域サロンの現状と活動報告、今後の展望などについての講演と運営に携わる方々でのシンポジウムが、さらにフォーラム終了後には昼食を兼ねた懇親会も開かれ、当日参加した法人内各部署の方々での交流の場となりました。例年以上の参加者が集まったフォーラムとなりました。

(大場 絢太)



## CoCo輝楽 建設工事がはじまる！

# 地鎮祭

2019年8月29日(木) 大安

10時より星野代表、松田統括部長を始め本部会議メンバーの皆さんや住宅建設関係の皆さんにご参列いただき、厳粛に地鎮祭が執り行われました。肅々と進行する式に今後の事業成功を祈りつつ滞りなく無事に終えることができました。皆様のおかげと感謝申し上げます。私もこのような場所に初めて出させていただき緊張感で一杯でしたが、これからは始まりという気持ちで改めて気の引き締まる思いでした。

「夢の扉を一つずつあけて一歩一歩進んでいきましょう」との代表のお言葉をしっかりと受け止め、銭函事業所全職員で今以上に地域に根付いた介護事業所として頑張つてまいります。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。当日朝まで降り続いた雨も奇跡的に上がり、天気も前途を応援してくれているようでした。

「かかって来

い！銭函！」

精神で頑張ります！

(菅原 智絵)





# 特集! 人間万事塞翁が馬

N様は大正14年1月17日生まれの93歳。北海道寿都の漁師の網元の家に8人兄弟の長女として生まれる。幼少期は鯉魚が盛んで御殿住まいのお嬢様。父は厳しさと優しさを備え持ち、漁から戻ると新鮮な食材を調理してくれた。鯉魚が衰退した頃は収入も減り、母は日中近所の井戸端会議に参加し留守がちに。N様は弟や妹の為に一生懸命、編み物や縫い物、簡単な調理を行っていたとのこと。学校へは幼い弟や妹と共に通学し、時にはおぶり、時にはあやしなから授業を聞いていた。「昔はそんな人たちがかりだつたよ。友達?そんな暇なんてなくて母の代わり」に家の事をやっていたよ。」と。勉強も運動も嫌いだつたからよかつたと話されるが、今でも足し算・引き算は早いN様。遊びといえば、自分で作ったお手玉を始め、おはじきやあやとりで、海は目の前だつたけどインドアだつたそう。尋常小学校卒業後はお金が掛るからと家事手伝いに励み、弟・妹を学校に通わせていたそうです。



似顔絵作:松田 郁美

22歳の時に家の前を通り役場に勤めに行く6歳年上の青年と知り合い、優しさに惹かれ、お互いに心を通わせ結婚。真狩の役場に転勤になつたご主人と共に新天地へ。真狩役場の助役で忙しい毎日を過ごすご主人を支えながら授かつた4女を育て、家庭菜園や育児に奮闘する毎日。そんなN様にご主人はご褒美も兼ね着付けやお茶、三味線や生け花教室に通わせてくれたそうです。ご主人との共通の趣味はスポーツ観戦。野球にプロレスに相撲に:なんでも観ていたとのこと。助役のご主人は議会の後には必ず同僚や部下を招いてお酒を振舞います。N様が得意とする料理は:「缶詰や買ってきたものばかり:」と。娘様の話では「お嬢様氣質であまり料理はしなかつた」と:笑 意外です!

さて4人の娘様達は:高校から大学まで札幌の学校に通っていたとか。「仕送りもあるし札幌に家を借りたりお金のやり繰りが本当に大変だつた。」としみじみ話されていました。自分達の夢を追い、さらに輝いている娘様達を見ると「がんばらにや!」と思えたそうです。

色々なやり繰りや、娘様達に会うために札幌と真狩の往復生活を送る中、ご主人に「来年村長に:」という声が掛ります。が、脳の病気を発症。まだ50代初め:。真狩の病院では治療ができません。入院中は娘様達と札幌で過ごし看取ることに。その後真狩にて一人暮らしをされていますが、60代に入ると娘様達のいる札幌へ。そこから第三の人生:。色々あつたそうですが:そこは秘密です。

昔話を経て「楽しかつたことより辛かつたことの方が多かつた。今はここに居て、ここにたまに来る娘たちを迎えて、持つてきてくれるお菓子を一緒に食べられることが幸せ!」と目をキラキラさせながら話してくださいました。「先に天国に逝つた主人に会うのは楽しみだけど、次は主人とは結婚しない。」とちよつと悪戯っぽい顔で締めてくださいましたN様。これからも私たちと、そして何より大事な娘様達と楽しく幸せな日々を送りましょうね!

## 第4回 便りが無いのは、良い便り

ケアプラン 銭函 上枝 深雪



皆さん、最近手紙を書かれたのはいつでしょうか。私の母は、筆まめな人で、よく手紙を書いていきます。使う便箋や封筒、ハガキや切手を相手に合わせて選び、また、それを購入する事も楽しみになつていくようです。

ある日、自宅に見慣れた文字のハガキが届いていました。母からです。一体何事?と読んでみると「元気でやっていますか?」と私を案じる内容が書いてありました。妹にも「お姉ちゃん、親に心配かけてるね」と呆れ顔でした(面目ない!) 実家近くに妹がおり、何かあれば連絡があるだろうと任せっぱなし。

思えば両親も後期高齢世代、担当させていたでいる利用者様と変わらない年代。でもなぜか自分の親はいつまでも元気であるものだと、どこか勝手に思い込んでいました。それはいつまでも元気なでいて欲しいとの思いからでしょうか。16日は敬老の日、利用者様だけではなく、自分の両親にも敬意を表したいと思えます。反省をこめて:

(上枝 深雪)



おいらーく

# 9月行事内容と10月行事予定

## 令和元年10月行事予定

## 令和元年9月行事内容とイベント風景

令和元年  
10月行事予定

令和元年  
9月行事内容とイベント風景

せんり	○誕生会 ○買い物レク
うらら伏古	○16日 ハロウィン
ココ東雁来	○8日 お茶の間喫茶ココよ ○9日・24日 訪問美容室
東雁来式番館	○セブンイレブンさん訪問販売 ○余市のくだもの屋さん ○秋のドライブ
えくぼ元町	○外出行事 ○秋の行事
元町式番館	○紅葉ツアー
えくぼ東	○お好みドライブ&ラーメンレク ○誕生会&落ち葉拾い (サテライト)
東苗穂	○お茶の間喫茶 ○ふれあいワクワク広場
ホーム夢	○ハロウィン ○紅葉狩り
銭函お散歩	○5日・19日 趣味の会 ○16日 フラワーアレンジメント ○21日 ローズウィンドウ

○敬老会&ぬり絵	
○15日 敬老会	
○猫目さん衣料品販売会 ○お茶の間喫茶ココよ ○訪問美容室 (金さん銀さん)	
○6日 衣類の訪問販売・三越「猫目」さん ○12日・26日 余市のくだもの屋さん ○22日 えくぼさん合同敬老会 ○23日 セブンイレブンさん訪問販売	
○敬老会 ○出前カフェ	
○合同敬老会 ○外食ランチ	
○敬老会 ○昼食の買物レク (サテライト)	
○わくわく広場 ○お茶の間喫茶 ○お隣のお昼ごはん	
○誕生会 ○敬老会 ○十五夜	
○7日・21日 趣味の会 ○2日~14日 デイサービス (他法人) のレク訪問 ○11日~30日 ちぎり絵展示会 ○27日 認知症カフェ 二胡演奏会	

## 経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。